



# 第27回 森と花の祭典—「みどりの感謝祭」 感じよう みどりの恵みと木のぬくもり

毎年4月15日から5月14日までは、多くの人たちに「みどり」について理解と関心を高めてもらうために設けられた「みどりの月間」です。

森と花の祭典—「みどりの感謝祭」は、みどりの月間の期間中に全国各地で緑に親しむ各種緑化行事の締めくくりとして開催されています。

今年は5月13日、14日の2日間にわたって東京都日比谷公園等を会場に開催され、式典併催行事の「みどりとふれあうフェスティバル」とともに森林の恵みを実感できるイベントとなりました。

今年27回目を迎えた「みどりの感謝祭」の式典は、秋篠宮同妃両殿下の御臨席を賜り、都内の会場で開催されました。

東京消防庁音楽隊の演奏と練馬区大泉第二小学校合唱団の合唱のプログラムにはじまり、開会宣言、山本農林水産大臣の主催者代表挨拶に続いて、祭典の名誉総裁・秋篠宮殿下からお言葉を賜りました。

続いて「みどりの文化賞」を受賞した熊崎実氏への表彰や、緑の少年団・花いっぱい運動の代表に対する苗木と花の特別贈呈、東日本大震災復興緑化用苗木の贈呈、山火事予防ポスター用原画入賞作品の表彰が行われました。式典終盤では平成30年全国植樹祭開催地・福島県新地町緑の少年団の代表が誓いの言葉を述べました。

御退席時に大泉第二小学校合唱団のメンバーから花束を贈られ、にこやかにお声をかけられていました。

また、みどりとふれあうフェスティバルは、「みどりの恵みと木のぬくもり」を見て『触れて』『食べて』『感じる憩いの広場』をテーマに、2日間にわたって日比谷公園で開催されました。

イベントフェスティバルには、森にふれ、森を育み、木をつかう企業、団体、NPO等が出展し、子どもから大人まで楽しめる内容に、家族連れをはじめ多くの人で賑わいました。

